

会 員 各 位

長野県病院薬剤師会
長野県薬剤師会病診部会
会長 神 田 博 仁

「情報交換会」開催のご案内

秋涼の候、皆様におかれましてはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は県病薬、県薬病診部会の活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。さて、今年度も11回目となります、業務別「情報交換会」を開催いたします。今回は薬-薬連携強化の一環として、保険薬剤師の先生方も参加する運びとなりました。是非とも多くの皆様にご参加いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。開催内容は以下の通りとなります。

1. 情報交換の「テーマ」は8テーマを選びました。
2. 事前にテーマ（裏面参照）をお知らせし情報交換がしやすいように致しました。
3. 「情報交換会」の内容はポスターにして会場に掲示いたします。情報交換会に参加できなかった皆様にも、ポスター紙面を通して連携・情報共有「つながる」を意識していただけたらと考えています。

【趣旨】 ①県内薬剤師の業務の質を高め、②連携強化「つながる」を推進し、③よりよい医療に貢献するために、「Face to Faceで話をすることで、困ったことを気軽に聞くことの出来る仲間を（人脈を）作りたい！」「県内薬剤師のよい取り組みを、全体の取り組みにしたい！」 → 県内の薬剤師が集まって気楽に情報交換する場を作ろう！というのが「情報交換会」開催の主旨となります。

【方法】 8のテーマ「①薬剤師のあり方・未来」「②安全対策」「③薬学教育（実務実習）」「④医薬品適正使用（医薬品情報）」「⑤ポリファーマシー」「⑥中小病院」「⑦若手（ネクストジェネレーション）」「⑧薬-薬連携」について、グループミーティング（Communication）を行います。

- ・ 結論を出すことが目的ではなく、フリーな情報交換会です。
- ・ エキスパートのみならずビギナーも含めて、気楽な情報交換会です。
- ・ 唯一のルールは「人の意見を良く聞き、批判しない事」、楽しくがポイントです！

【日程】 11月23日（土）13：00～14：30 「新人研修会」と並行して開催致します。

【参加申込み】 学術大会出席者通知書に、「情報交換会」参加希望テーマの第1希望・第2希望を記載してください。参加希望者数により「テーマ」については、第2希望となること、コラボレーションすることもあります。その際にはご了承ください。

*当日も参加を受け付けますが、人数把握（グループ分け）のため事前に申込みをしていただきますようお願い申し上げます。

以 上



業務委員長 清原健二（新生病院）
電話番号：026-247-6166（薬局直通）
E-mail：k.kiyohara@newlife.or.jp

2019年度「情報交換会」のテーマ

気楽に業務における悩みや・分からない事など、テーマに沿って意見「情報」交換しませんか？
 他施設の取り組みを聞かせていただくことで、いろいろと参考になったり、解決へのヒントが見つかる
 かもしれません。「特別講演」から参加しようと考えている皆様も、少し早めに出発していただき「情報
 交換会」への参加を是非ともご検討ください。
 病院・薬局の大きさ、業務形態の垣根を越えて「つながり」ましょう！
 若手・中堅の先生方も気楽にご参加ください。



	テーマ	テーマのご案内
1	薬剤師の あり方・未来	<p>薬剤師のあり方・未来を一緒に考えませんか？ 超高齢化社会に向けて医療が大きく変革している中、薬剤師もそのあり方が問われてきています。本年4月2日に発出された「調剤業務のあり方について」や今後改正が見込まれる薬機法を例に見ても薬剤師はその業務・意識ともに変化することが求められています。何を残し、何を変えていくのか。これから必要となることは何なのか。未来に向けての今、話し合いませんか。</p>
2	安全対策	<p>「謝罪」について話し合しましょう 人は間違いを犯すものであり、医療は誤りから学び、それを防ぐための方策を考えていくことが大切・・・医療安全の重要な考え方です。しかしながら日常において、自らまたはスタッフがその誤りを起こした時、適切な対応または謝罪ができていますでしょうか？今回は特に「謝罪」にフォーカスしディスカッションをしていきたいと思えます。</p>
3	薬学教育 (実務実習)	<p>改訂モデル・カリキュラムでの実務実習、順調ですか？ 今年度より薬学実務実習ガイドラインに基づく薬局・病院実習が始まりました。大きく3点が改訂されましたが、特に評価方法に概略評価表(ルーブリック評価表)が導入されました。いろいろな観点から学生を評価し、パフォーマンス課題も評価することができる、とされています。また代表的8疾患を学ぶ、という課題も大きな変更点でしたが、皆さんの施設では、どんな点に工夫してスケジュールを調節したか、問題点や改善点などについて話し合ってみませんか？</p>
4	医薬品適正使用 (医薬品情報)	<p>一歩進んだ医薬品情報を目指して 医療現場ではチーム医療が浸透し、医師・薬剤師の協働のもと、薬剤師による処方設計、処方提案、薬学的患者ケア、副作用モニタリングがますます求められています。医療における役割の変革、そして医療が高度化する中で薬物療法の最適化にはさらなる質の高い医薬品情報が必要となります。薬剤師の根幹ともいえる医薬品適正使用について現状と課題を共有しませんか？</p>
5	ポリファーマシー	<p>ポリファーマシー・・・対応できていますか？ 日常業務で毎日出会う「ポリファーマシー」。でもなかなかうまく解決できていないのではないのでしょうか？ポリファーマシーは単に服用する薬剤が多いことではなく、薬剤有害事象リスクの増加、服薬過誤、服薬アドヒアランスの低下などの問題に繋がり、さらに高齢化社会をにおける社会保障費抑制に向けても薬剤師の取り組みが期待されています。悩み多きポリファーマシー・・・現状と課題を話し合しましょう。</p>
6	中小病院	<p>「中・小規模医療施設」は課題がいっぱい 病院という形態上、薬剤師がやらなければいけないことは山積み・・・でも人手が足りないため、できる業務に限られる・・・でも周りから求められることはたくさんある・・・人が欲しい・・・でも応募がない・・・。課題に対する悩みはいっぱいありますが、だからこそ集まって情報を共有し、さらに中小ならではの魅力についても話し合いませんか？</p>
7	若手 (ネクストジェネレーション)	<p>我こそは次世代！集まろう若手！ 昨年度新設された本テーマは「会長賞」を見事にGETしました。若手同士の繋がりは未来の薬剤師の礎(いしずえ)です。情報交換会には興味はあるけど、自分はまだ若手だからちょっと参加しづらい・・・、他の若手病院薬剤師さんとお友達になりたいけどなかなか機会がない・・・、自分が持っている悩みを同年代に聞いて欲しい・・・などなど考えている君！是非参加してお友達の輪を広げませんか。年齢制限は(おおむね)35歳以下で、テーマは「円滑なコミュニケーションあれこれ」です。</p>
8	薬-薬連携	<p>さあ、今こそ薬-薬連携！ 昨年度業務委員会で行った県病薬-県薬における「薬薬連携アンケート調査」の中で「個別の病院-保険薬局間では多くの取り組みが行われているが、組織的な活動がこれからの課題である」と考察されました。さらに、「顔の見える関係づくり」が相互連携をさらに構築していくにあたり最も必要であると結果が出ています。さあ、まずは顔の見える関係づくりははじめましょう！</p>